

令和元年度 事業報告

1 概要

令和元年度は、第1次中期計画期間の最終年度として、的確な進行管理と評価の下、事業運営に努め、次期計画への円滑な引継ぎと反映のための取組みを行いました。

事業実施計画の最重点事項の会員拡大については、元年度を「女性会員拡大強化年度」と定め、シルバー人材センター（以下「センター」という。）の持つ強い男性イメージを払拭するためのイメージ戦略として、女子会活動等特色ある事業展開による普及啓発及び会員会費規程の見直し等による会員拡大を図りました。

結果、年度末の会員数 286 人で前年度対比 12 人の増員となり祖入会率は 2.9%で前年度を 0.2 ポイント上回りました。重点とした女性会員数は前年度と同数の 94 人でしたが、女子会活動を前面に押し出したイメージ戦略活動は発展的な手ごたえを感じるので、積極的な啓発活動として次年度に引継ぎます。

就業拡大については、下表1のとおり、受託（請負）事業契約額は前年度対比 104.3%、派遣事業は前年度対比 86.6%の実績でした。派遣事業の減少要因は派遣先事業所の直接雇用や観光リゾート施設利用客減による就業機会の減少が主な要因です。

特質する受託事業として、観音滝公園指定管理者不在後の「公園見回り業務」、「公園除草作業等業務」及び「県議会議員選挙及び参議院選挙ポスター掲示板設置・撤去作業」を受注し、動員力と機動力を発揮した公共事業による就業機会の拡大を図りました。

なお、10月に引上げられた消費税率に波及する配分均等作業料金の引上げ改定は次年度に繰越すこととし、発注者様への安価な作業を継続しました。

安全就業については、前年度から引継いだ取組みの成果として、鹿児島県シルバー人材センター連合会（以下「県シ連」という。）の7月の安全大会で、「安全就業優良センター表彰」を受けました。受彰後も「安全はすべてに優先する」を合言葉に安全の確保に努めました。

管理運営面については、前述した第1次中期計画に基づき計画的、段階的かつ継続的な管理運営に努めた結果、基本数値目標に対する実績は下表2のとおりでした。このほか、車両運搬具資金積立資産を財源とした軽トラダンプ2台を購入し業務の効率化を図るとともに、計画に基づいた資金積立資産を取得しました。

また、事務局職員の人的体制を整え、組織としての円滑な移行と継続性を図るため、5月に正規職員一人の採用を行いました。

以下、令和元年度の主な事業実施内容について報告します。

2 事業実施内容

(1) 事業実績（表1）

区 分		平成 30 年度	令和元年度	対前年度比
受託事業	会 員 数	274 人	286 人	12 人
	男 性	180 人	192 人	12 人
	女 性	94 人	94 人	0 人
	受 注 件 数	2,175 件	2,136 件	△39 件
	受 託 件 数	3,173 件	3,092 件	△81 件
	契 約 金 額	116,119,333 円	121,054,769 円	4,935,436 円

	就業実人員A	222人	221人	△1人
	就業実人員B (*うち派遣)	258人 (36人)	240人 (19人)	△18人 (△17人)
	就業延人員	21,770人	22,114人	344件
	就業率A	81.0%	77.3%	△3.7P
	就業率B (*派遣含む)	94.2%	83.9%	△10.3P
派遣事業	登録会員数	86人	99人	13人
	受託件数	266人	267人	1件
	契約金額等	40,672,181円	35,234,704円	△5,437,477円
	就業延人員	6,947人	6,105人	△842人

(2) 第1次中期計画基本数値目標に対する実績(表2)

区分	令和元年度目標	令和元年度実績	達成率	
会員数	298人	286人	96.0%	
受注件数	未設定	2,136件	—	
受託件数	3,300件	3,247件	98.4%	
契約額	受託事業	119,900,000円	121,054,769円	101.0%
	派遣事業	36,600,000円	35,234,704円	96.3%
	計	156,500,000円	156,289,473円	99.9%

(3) 安全就業の確保

平成30年度の安全就業強化年度の理念を引き継ぎ、「安全は全てに優先する」を合言葉に安全大会の開催や安全点検チェック表による安全確認及び安全パトロール等を忠実に実施し、会員一丸となつての安全就業の徹底に努めました。

結果的には、傷害事故、賠償事故ともに3件ずつの計6件が発生し前年度と同数で、平年以下の事故件数で抑えることができました。

(4) 派遣事業及び適正就業の推進

適正就業ガイドラインに沿った事業の推進に努めました。

改正派遣法の新たな許可基準であるキャリアアップ措置の教育訓練は、ビジネスマナー、待遇、個人情報保護・人権、労働法関係講習を行い、派遣労働者としての能力アップを図りました。なお、要件緩和された業務拡大の週20時間以上の就労ケースの実績はありませんでした。

(5) イメージ戦略的普及啓発活動の推進

令和元年度を「女性会員拡大強化年度」と定め、センターの持つ男性イメージから女性イメージへの変化を図るため、イメージ戦略による女性会員の確保に努めました。

ア 会員互助会に発足した女子会との連携と共働で初の試みとして、「レディース・グラウンドゴルフ大会」、「スマホ教室」及び「エステ体験会」を開催し、女性会員確保に努めました。大幅な女性会員の増員にはつながりませんでしたが、イメージ戦略活動は変化への予兆があるので、積極的な活動を次年度に引継ぎます。

イ 行政支援による公民会文書発送便による広報紙(シルバーだより)1回及び普及啓発チ

ラシ 2 回の全戸配付を行ったが、配付後の反応があり入会につながったので今後も拡充を図ります。

ウ 会員会費規程の減額及び免除改正による会員確保対策については、夫婦会員 2 組、3 月 31 日付け入会者 10 名を確保でき有効な手立てになりました。

これらの取組みの結果、1 年間の入・退会者は次のような実績でした。

入会者	退会者	増減
31 人	19 人	12 人

(6) 第 1 次中期計画に基づいた組織体制の整備と拡充

ア 第 1 次中期計画の最終年度として、計画的かつ段階的な管理と運営に努めました。基本数値目標の実績は前書きした表 2 のとおりでした。

イ 第 2 次中期計画（令和 2 年度～令和 4 年度）策定委員会（3 回）を開催し、令和 2 年 4 月 1 日計画実施に備えました。

ウ 体制整備と運営面では、車両運搬具資金積立資産を財源とした軽トラックダンプ 2 台を購入し、業務の機動力と効率性の向上を図りました。

(7) その他

ア 前年度提出した剰余金の解消計画について、その執行状況に対して鹿児島県商工労働水産部雇用労政課から再計画策定の事務連絡があったので 2 月 13 日に再提出しました。

イ 諸会議等の開催

センター事業の円滑で発展的な運営を図るため、次の会議等を開催しました。

定時総会 1 回／理事会 4 回／理事及び幹事候補者選考委員会 1 回／安全適正就業推進委員会 1 回／広報委員会 3 回／独自事業推進委員会 2 回／地域班長会 3 回

ウ 大会及び研修会・講習会への積極的な参加

役職員の資質向上を図るために、全シ協、九シ協、県シ連及び関係機関団体の大会や研修会及び講習会に積極的に参加しました。

また、鹿屋市シルバー人材センターを訪問しての視察研修、南九州市シルバー人材センター女子部会研修を受入れての合同研修を行いました。

令和元年度事業報告の付属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書」は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないものとします。